

野々市市監査公表第 8 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 7 項の規定により、財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を次のとおり公表する。

令和 2 年 12 月 25 日

野々市市監査委員 小 松 靖 典

野々市市監査委員 大 東 和 美

令和2年度 財政援助団体等監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類

財政援助団体等監査（地方自治法第199条第7項の規定による監査）

2 監査の対象団体名、所在地及び所管課名

団体名 公益財団法人 野々市市情報文化振興財団
所在地 野々市市三納一丁目1番地
所管課名 野々市市教育文化部 文化課

3 監査の期間

令和2年10月から令和2年12月まで
〔実地調査 令和2年11月10日〕

4 監査を執行した監査委員

監査委員 小松 靖典
監査委員 大東 和美

5 監査の範囲

令和元年度に執行された事業、会計経理、財産管理等について。

また、令和元年度に野々市市から交付された野々市市情報文化振興財団の補助金に係る出納及びその他出納に関連した事務の執行状況並びに市から指定を受け指定管理者として管理を行った施設について。

6 監査の方法

野々市市から出資を受けた団体である公益財団法人野々市市情報文化振興財団の出納その他の事務が、補助金の趣旨や目的に沿って適正かつ効率的に執行されているか、補助金交付に関連して、所管課の団体に対する指導監督が適切に行われているか、公の施設管理に係る事務が適正かを主眼として実施した。

また、監査にあたっては、あらかじめ資料の提出を求め審査するとともに、事前に当該団体の職員及び所管する市職員から説明を受け関係書類及び帳票を確認した。

第2 監査対象団体の概要

1 監査の対象団体の設立及び出資の目的

公益財団法人野々市市情報文化振興財団は、情報通信技術の活用推進と芸術文化の振興を図るとともに、市民の教養向上と相互交流を促進し、もって豊かで潤いのある地域社会の形成と住民福祉の向上に寄与することを目的とし平成16年6月10日に財団法人として設立されたものであり、平成24年4月1日に公益財団法人へと移行している。

2 本市との関係

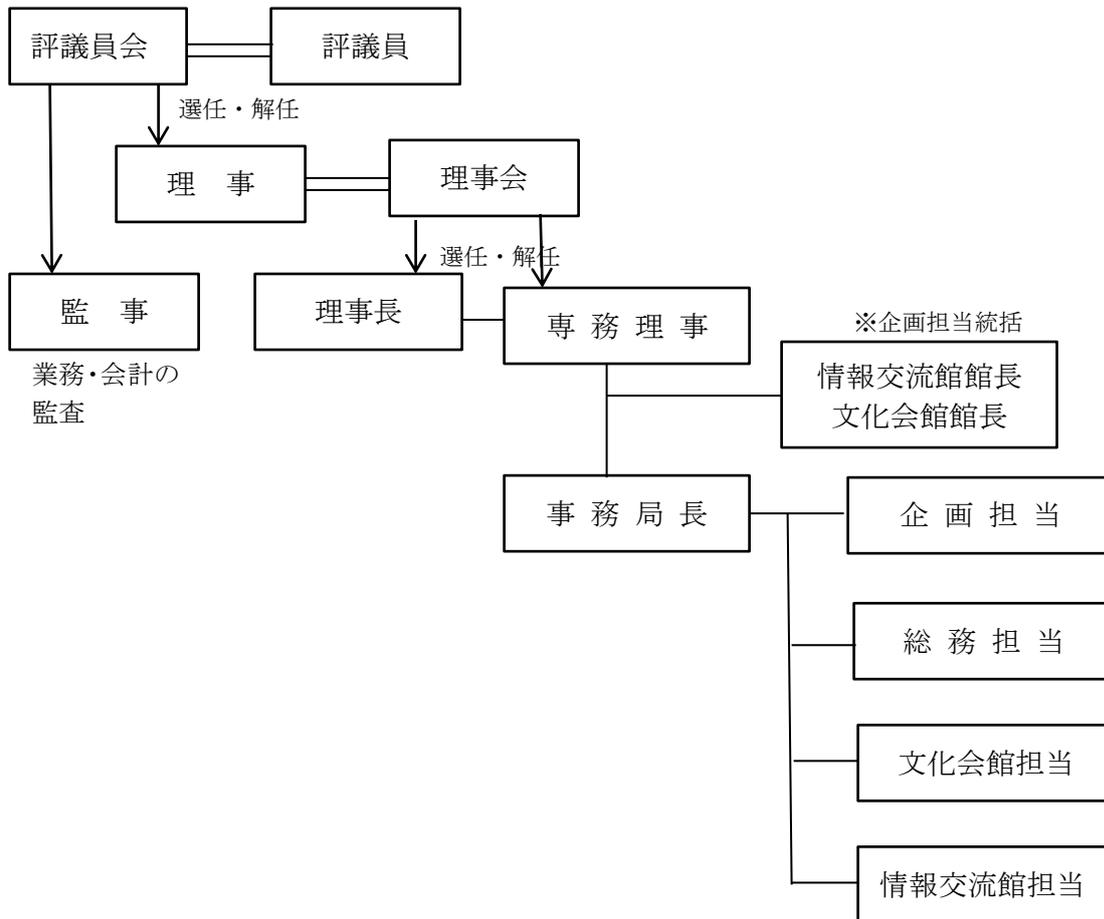
(1) 出資状況	基本財産	30,000,000円
(2) 補助金の交付状況	野々市市情報文化振興補助事業	59,002,739円
(3) 施設管理の状況	管理運営委託	18,500,000円

3 主な事業所の所在地

事業所	所在地
野々市市情報交流館カメラア	野々市市三納一丁目1番地
野々市市文化会館 フォルテ	野々市市本町五丁目4番1号

4 組織

公益財団法人野々市市情報文化振興財団は、野々市市情報交流館カメラアに事務局を設置しており、組織機構は次表のとおりである。



公益財団法人野々市市情報文化振興財団の組織は、評議員会（理事及び監事の選任・解任、各事業年度の事業報告及び決算の承認、定款の変更等の権限を有する議決機関）、理事会（業務執行の決定、理事の職務執行の監督、理事長及び専務理事の選定及び解職等の権限を有する執行機関）及び監事、並びに事業実施機関である事務局で構成されている。

令和元年度の評議員は4人であり、このうち、市関係者として、副市長が就任している。役員は8人で、内訳は、理事6人（理事長1人、専務理事1人、理事4人）及び監事2人である。市関係者として、理事長に市長、専務理事に教育長、監事に会計課長が就任している。

5 職員数

令和元年度末における職員数の状況は、次表のとおりである。

施設名	非常勤 嘱託職員	市派遣 職員	正職員	臨時 職員	嘱託 職員	合計
野々市市情報交流館カメラア	1	1	4	5	0	11
野々市市文化会館フォルテ	0	0	4	0	1	5
合計	1	1	8	5	1	16

令和元年度の職員数は16人で、内訳は、非常勤嘱託職員1人、市派遣職員1人、正職員8人、臨時職員5人及び嘱託職員1人である。

施設別では、野々市市情報交流館カメラア11人、野々市市文化会館フォルテ5人である。

6 現金の取扱状況について

1) 現金の保管方法

情報交流館

業務時間内・・・職員が施錠可能な手提金庫・レジスターで管理

業務時間外・・・職員が現金残高を確認し手提金庫に入れ、耐火金庫に保管。
さらにその部屋を施錠している。なお、耐火金庫が設置されている部屋の鍵は、別の電子施錠の部屋で保管している。

文化会館

業務時間内・・・職員が施錠可能な手提金庫で管理

業務時間外・・・職員が現金残高を確認し手提金庫内に入れ、耐火金庫に保管。
さらに事務所を施錠している。

2) 預金通帳と通帳印の保管方法

情報交流館

業務時間内・・・預金通帳管理者・・・事務局長

預金通帳保管場所・・・手提金庫

通帳印管理者・・・事務局長

通帳印保管場所・・・手提金庫

業務時間外・・・預金通帳と通帳印は、手提金庫に入れ、電子施錠が掛かる部屋で保管している。

文化会館

業務時間内・・・預金通帳管理者・・・事務局長

預金通帳保管場所・・・手提金庫

通帳印保管者・・・事務局長（情報交流館所在）

通帳印保管場所・・・情報交流館の手提金庫

業務時間外・・・預金通帳は、手提金庫ごと耐火金庫に入れ、事務所を施錠している。

現金の保管状況について、情報交流館及び文化会館では、時間帯に応じて、共に手提金庫及び耐火金庫での保管に加え、設置部屋の施錠（文化会館は事務所の施錠）もされていることから適正に管理がされていると思われる。

預金通帳と通帳印の保管状況については、情報交流館では、時間帯に応じて手提金庫で保管し、電子施錠をした部屋で保管している。文化会館でも時間帯に応じて手提金庫での保管、耐火金庫での保管に加え、事務所の施錠をしていることから適正に管理がされていると認められる。

7 事業の種類

- (1) 情報通信技術の活用推進に関する事業
- (2) 芸術文化の振興に関する事業
- (3) 市民の教養向上と相互交流の促進に関する事業
- (4) 野々市市から受託する施設の管理運営に関する事業
- (5) その他公益目的を達成するために必要な事業

8 事業概要

- (1) 情報通信技術の活用推進及び市民の教養向上と相互交流の促進に関する事業

1	カメラ紹介・交流サロン利用促進事業
	<ol style="list-style-type: none"> (1) パンフレット配布・地域ポータルサイトののいちタウン情報局活用 (2) カメラメイト新規登録推進 (3) パソコン I T なんでも相談窓口（I T サポーター設置） (4) カメラ学習スタンプラリー (5) カメラ・パソコンで作っちゃおう工房 (6) 創作ギャラリー及び3階ギャラリー展示の充実
2	カメラパソコン教室
	<ol style="list-style-type: none"> (1) カメラパソコン講座（座学の教室） ※一部中止 (2) I T ことはじめ（座学の教室） (3) ビデオパソコン講座（自学自習形式）
3	カメラ・パルの会育成事業
	<ol style="list-style-type: none"> (1) 4つの部会（のいちコンテンツ部会、I T スキルアップ部会、みんなのパソコン講座部会、交流ネットワーク部会）の活動支援
4	こどもセンター事業
	<ol style="list-style-type: none"> (1) こどもセンターチャレンジ教室 (2) こどもセンター放課後子ども教室（協力事業／生涯学習課主管）
5	地域情報化協働推進事業
	<ol style="list-style-type: none"> (1) ののいち地域事典の構築 (2) 各種団体へのHP作成支援及びW e b スペース提供
6	映像制作事業
	<ol style="list-style-type: none"> (1) 映像製作教室「花と緑ののいち椿まつり 2020「見せる編集」で作品力アップ！ ※中止 (2) あわら湯けむり映画祭 受賞作品上映会 i n 野々市 ※中止

7	科学技術理解増進事業
	(1) カメリア・キッズ【空間サイエンス編】、【春休み特別企画 micro:bit でプログラミング体験☆ カメリアハック!】 ※中止 (2) カメリア知ってネット教室&パソコンで年賀状づくり (3) 星空観望会 (4) アニメーションづくりワークショップ及びコンテスト (5) 国際アニメーションデー2019in 野々市 ～世界のアニメーション上映～

8	庁舎複合スペース賑わいと交流創出事業 ～カメリアまつり～
	(1) カメリアまつり
9	JAXA宇宙航空研究開発機構連携事業
	(1) JAXA宇宙航空研究開発機構連携事業 コズミックカレッジ in 野々市
10	市民文化教養講座
	(1) 公共ホール現代ダンス活性化事業 ※(一財)地域創造より採択 【アウトリーチ】、【公募型ワークショップ】
共催事業	
1	カメリア紹介・交流サロン利用促進事業
	(1) CHA-CHA-CHAT (チャチャチャット) ～国際交流員のエドと話そう!～
2	カメリア・パルの会育成事業
	(1) パソコンを用いた初心者向け講座とものづくり講座

(2) 芸術文化の振興に関する事業

1	地域の芸術文化普及事業
	(1) BIG APPLE in NONOICHI 2019 (第25回) (2) BIG APPLE 出演者学校訪問 (3) 第16回野々市市フレンドリーコンサート (4) 「ベーゼンドルファー」演奏体験 (5) フォルテコンサート ・「大学生ジャズコンボフェスティバル」 ・ジャズで楽しむ秋ジブリ ・公共ホール音楽活性化支援事業 (おんかつ支援) 「ブラック・ボトム・ブラス・バンド コンサート」 【アウトリーチ】、【コンサート】 (6) 全国公立文化施設協会研修会 ・東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 ・東海北陸地域 劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会 (7) よしもと漫才師たちが真剣勝負で繰り広げる本格漫才の決定版 「漫才のDENDO 全国ツアー in 野々市」 ※中止

2 地域住民による演劇活性化事業	
(1) 市民劇団「劇団nono」演劇公演「森は生きている」 (2) 劇団銀河鉄道ぬいぐるみミュージカル「かさじぞう／さんまのおふだ」 (3) Jr.サンシャインバンド支援事業	
共催事業	
1 地域の芸術文化普及事業	
(1) 和太鼓集団「倭-YAMATO」日本ツアー2019 石川公演 (2) 平成軍 vs 昭和軍 ビッグバンド合戦 ～令和最初の壮絶 SWING バトル～ (3) ののいち親子ふれあい行事 0歳からの親子音楽会 ～親子で楽しむ吹奏楽ミニコンサート～ (4) 第23回石川県マーチングバンドカーニバル／第5回クロスオーバー コンサート	
2 地域住民による演劇活性化事業	
(1) 県高校演劇合同発表会	

9 施設の利用状況

令和元年度の施設別の利用状況は、次表のとおりである。

施設名	部屋名等	区分	令和元年度	平成30年度	増減
文化会館 フォルテ	大ホール	件数	172	211	△39
		利用者数	48,797	63,393	△14,596
	小ホール	件数	216	256	△40
		利用者数	17,269	22,232	△4,963
	会議室等	件数	1,123	1,959	△836
		利用者数	15,506	43,400	△27,894
	計	件数	1,511 (837)	2,426 (1,482)	△915 (△645)
利用者数		81,572	129,025	△47,453	
情報交流館 カメラア	ホール	件数	378	418	△40
		利用者数	58,338	27,524	30,814
	研修室等	件数	1,804	2,069	△265
		利用者数	19,413	21,564	△2,151
	交流サロン 子どもセンター	利用者数	13,929	15,697	△1,768
	計	件数	2,182 (614)	2,487 (644)	△305 (△30)
		利用者数	91,680	64,785	26,895
総 計	件数	3,693 (1,451)	4,913 (2,126)	△1,220 (△675)	
	利用者数	173,252	193,810	△20,558	

※ () 内は使用料減免件数である。

令和元年度の施設利用者数は、173,252人であり前年より20,558人減少している。施設別では、情報交流館カメラで26,895人増加しているものの、文化会館フォルテでは47,453人減少している。

これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月3月に休館としたことや、平成30年度は中央公民館を取り壊し、「にぎわいの里のいち カミーノ」の建設に伴い、利用者が特に多かったことが影響している。

10 決算概要

野々市市情報文化振興財団の会計は、公益法人会計基準に準拠して処理されており、貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財産目録が作成されている。

(1) 貸借対照表

令和元年度末における資産、負債及び正味財産の状況及び前年度比較の表は次のとおりである。

科 目	令和元年度	平成30年度	増減額
I 資産の部			
1 流動資産	11,255,895	15,575,015	△4,319,120
現金預金	9,572,075	13,845,883	△4,273,808
未収金	1,683,820	1,729,132	△45,312
2 固定資産	30,000,000	30,000,000	0
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
資産合計	41,255,895	45,575,015	△4,319,120
II 負債の部			
1 流動負債	11,255,895	15,575,015	△4,319,120
未払金	5,217,212	7,894,360	△2,677,148
前受金	5,693,300	7,040,700	△1,347,400
預り金	345,383	639,955	△294,572
2 固定負債	0	0	0
長期借入金	0	0	0
負債合計	11,255,895	15,575,015	△4,319,120
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	30,000,000	30,000,000	0
地方公共団体補助金	30,000,000	30,000,000	0
正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
負債及び正味財産合計	41,255,895	45,575,015	△4,319,120

令和元年度末の資産合計は、41,255,895円で、内訳は流動資産11,255,895円及び固定資産30,000,000円である。流動資産の主なものは現金預金9,572,075円で、固定資産は基本財産で定期預金30,000,000円である。

負債合計11,255,895円は、全額流動負債で主なものは、未払金5,217,212円（施設管理委託費補助金還付金等）及び前受金5,693,300円である。

正味財産合計は 30,000,000 円で、全額野々市市からの出損金の指定正味財産である。前年度と比較すると、資産は 4,319,120 円(9.5%)の減となっており、内訳は現金預金が 4,273,808 円の減、未収金が 45,312 円の減であった。

負債も 4,319,120 円(9.5%)の減となっており、内訳は未払金が 2,677,148 円の減、前受金が 1,347,400 円の減、預り金が 294,572 円の減であった。

なお、正味財産については、前年と同額であった。

(2) 正味財産増減計算書

令和元年度における正味財産の増減内容（収益・費用）及び前年度比較は次のとおりである。

科 目	令和元年度	平成 30 年度	増減額
I 一般財産正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,694	5,388	△2,694
②事業収益	52,757,649	54,243,285	△1,485,636
③受取補助金等	59,835,739	60,761,182	△925,443
④雑収益	35,010	20,085	14,925
経常収益計	112,631,092	115,029,940	△2,398,848
(2) 経常費用			
① 事業費	110,144,550	112,562,139	△2,417,589
人件費	45,670,472	45,254,465	△416,007
委託費	39,955,583	40,781,546	△825,963
光熱水料費	14,559,283	15,404,343	△845,060
負担金	58,000	58,000	0
その他（上記以外）	9,901,212	11,063,785	△1,162,573
② 管理費	2,486,542	2,467,801	18,741
人件費	1,453,928	1,483,928	△30,000
その他（上記以外）	1,032,614	983,873	48,741
経常費用計	112,631,092	115,029,940	△2,398,848
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産増減の部			
当期指定正味財産指定額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0

令和元年度の一般正味財産増減の部では、経常収益、経常費用ともに 112,631,092 円となり、この差引に指定正味財産期末残高 30,000,000 円を加えた正味財産期末残高は、30,000,000 円となった。

前年度と比較すると、経常収益では、事業収益が 1,485,636 円 (2.7%) の減、受取補助金等が 925,443 円 (1.5%) の減となった。一方、経常費用では、事業費が 2,417,589 円 (2.2%) の減、管理費が 18,741 円 (0.8%) の増となった。

(3) 収支計算書

令和元年度における収支の予算額及び決算額は次表のとおりである。

科 目	予算額	決算額	増減額
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入	114,409,000	112,631,092	△1,777,908
(1) 基本財産運用収入	1,000	2,694	1,694
(2) 事業収入	53,959,000	52,757,649	△1,201,351
貸館収入	28,000,000	28,049,090	49,090
施設管理受託収入	18,500,000	18,500,000	0
自主事業収入	7,459,000	6,208,559	△1,250,441
(3) 補助金収入	60,447,000	59,835,739	△611,261
受取地方公共団体補助金収入	59,614,000	59,002,739	△611,261
受取民間補助金収入	0	0	0
受取民間助成金収入	833,000	833,000	0
(4) 負担金収入	0	0	0
(5) 寄付金収入	0	0	0
(6) 雑収入	2,000	35,010	33,010
受取利息収入	2,000	220	△34,790
雑収入	0	34,790	34,790
(7) 他事業からの振替額	0	0	0
2 事業活動支出	114,409,000	112,631,092	△1,777,908
(1) 事業費	110,922,000	110,144,550	△1,777,908
(2) 管理費	3,487,000	2,486,542	1,000,458
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
2 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

令和元年度の事業活動収支の部は、事業活動収入、事業活動支出ともに 112,631,092 円で、その差引は 0 円であり、時期繰越収支差額も 0 円となっている。

予算に対する決算の執行率は、98.5%となっており、概ね達成出来たものと認められる。

11 補助金の交付状況

- ・補助の対象 野々市市情報文化振興補助事業
- ・補助の内容 文化会館及び情報交流館の管理運営並びに自主事業
- ・補助金申請額 59,614,000 円
- ・補助金交付額 59,002,739 円

(野々市市情報文化振興補助事業)

事由	提出・決定等期日	申請・決定等金額
補助金交付申請	平成 31 年 4 月 1 日	59,614,000 円
補助金交付決定通知	平成 31 年 4 月 15 日	59,614,000 円
補助金交付 (第 1 回)	平成 31 年 4 月 26 日	23,914,000 円
補助金交付 (第 2 回)	令和 元年 7 月 31 日	15,050,000 円
補助金交付 (第 3 回)	令和 元年 10 月 31 日	15,050,000 円
補助金交付 (第 4 回)	令和 2 年 1 月 31 日	5,600,000 円
補助事業変更承認申請	令和 2 年 3 月 31 日	59,002,739 円
補助事業変更承認通知	令和 2 年 3 月 31 日	59,002,739 円
補助事業実績報告	令和 2 年 5 月 28 日	59,002,739 円
補助金確定	令和 2 年 3 月 31 日	59,002,739 円
補助金返還	令和 2 年 5 月 25 日	611,261 円

第 3 監査結果

財政援助に係る出納その他の事務の執行について監査した結果は、次のとおりである。

事業は公益性が高く、事業計画及び補助金交付条件に従って実施され、公益事業として一定の効果が表れている。

また、事務処理については、総じて適正かつ効率的に実施されていると認められた。

第 4 監査意見

令和元年度財政援助団体等監査は、「公益財団法人 野々市市情報文化振興財団」を対象に監査を実施し、監査の概要、財団の概要および監査結果については、これまでに述べたとおりである。

監査意見は、以下に記述する。

- 1 収益事業には、貸館事業と郵便切手販売の2つがあり、令和元年度の割合は総収入の30%程であるが、今後は、貸館の稼働率を上げる方策などを検討され、収益の向上に努められたい。
- 2 市の財政状況が厳しくなる中、外部団体から助成を受けて行う「市民文化教養講座」などの自主事業を積極的に取り入れることが望ましい。今後とも、助成事業や補助事業を増やしていくことを検討されたい。
- 3 市内の大学や学校、市民団体等と幅広い連携を図り、理事と評議員からの新しい意見も取り入れ、市民に幅広く自主事業をアピールし、今後は、工夫を凝らした情報発信に努められたい。